

報道関係 各位

2023年7月24日

ヘルスリテラシー向上のための健康教育支援と環境整備に着手 中学生・高校生向け健康教育支援の教材提供をスタート

日本 OTC 医薬品協会（会長：杉本 雅史、以下 OTC 薬協）は、本日、生活者のヘルスリテラシー向上のための健康教育支援と環境整備を目的として、中学生と高校生の教育担当者に向けた「くすり教育教材」とその活用に関する「手引き」を OTC 薬協 WEB サイト*1 に公開したことをお知らせします。

OTC 薬協は、2022 年度に、健康教育プロジェクトを発足させて、小学生や中学生、高校生に向けたヘルスリテラシー向上のための健康教育について、教育現場の調査に基づき検討してまいりました。

その後、OTC 薬協のアドバイザーボード*2 における、これからの健康教育の在り方についてのご意見を踏まえ、本日、一部教材の見直しを行い、手引きと共に公開することとしました。

「手引き」では、「くすり教育教材（中学生と高校生向け）」の構成、各章ごとの目的・ねらい、学習のポイントなどをわかりやすく解説しており、学校教育等で活用する場合の参考としていただける内容となっています。

*1：OTC 薬協 WEB サイト

「くすり教育教材（中学生・高校生向け）」～健康教育プロジェクト～

<https://www.jsmi.jp/med/education/index.html>



- 1 章「健康でいるために」
- 2 章「薬とは」
- 3 章「薬の剤形と特徴」
- 4 章「薬を正しく使うには」
- 5 章「薬の主作用と副作用」
- 6 章「薬の規制」
- 7 章「ヘルスリテラシーとセルフメディケーション」

今後、小学生に対する健康教育支援にも取り組み、くすりに係わるあらゆる場（薬物乱用防止教育、くすり教育など）において、健康三原則（栄養、運動、睡眠）に基づく健康教育の定着を目指します。

また、そのための成功事例づくり、関係者への支援、エビデンスづくりなども併せて行う予定です。

ヘルスリテラシーの向上による健康で豊かな社会実現のため、短期、長期で取り組む課題を整理し、教育現場の実情も加味しながら教育担当者（教諭、養護教諭、学校薬剤師等）の方々へ必要な情報支援を行ってまいります。

*2 : OTC 薬協アドバイザリーボード

2023年2月に発足。セルフケア・セルフメディケーション推進策への提言やOTC医薬品やOTC検査薬などの活用に関連する政策などについて、より広い視野から有識者の意見をうかがう場としています。

<https://www.jsmi.jp/special/board/index.html>



参考：ヘルスリテラシー

ヘルスリテラシーは、健康リテラシーとも呼ばれており、自分に必要な健康情報、医療情報を見極める力のことです。

健康や医療についての情報を入手し、理解し、その情報の確かさを評価し、活用できる知識力や意欲、能力など、それがヘルスリテラシーです。

ヘルスリテラシーを向上させることによって、自分の健康増進や疾病予防について正しく判断し、行動することから健やかな心身を作り、生活の質を維持・向上させることができます。

医薬品の適正使用と有効性・安全性の知識・理解を深めることは、国民の役割として法律（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第一条の六）で求められており、ヘルスリテラシー向上のための一歩につながります。

【本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先】

広報担当：湯浅、尾花 電話：(03)5823-4971（代表）、メール：info@jsmi.jp